

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称	PicoGene® Campylobacter spp. Kit
製品コード	RGT007A
供給者の会社名	日本板硝子株式会社
住所	神奈川県相模原市緑区西橋本5-8-1
担当部門	ビジネスイノベーションセンター
電話番号	042-775-1532
推奨用途及び使用上の制限	PCRによるカンピロバクター属菌の検出(研究用)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体 区分外 自然発火性液体 区分外 自己発熱性化学品 区分外 水反応可燃性化学品 区分外
健康有害性	急性毒性(経口) 区分外 急性毒性(経皮) 区分外

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示	GHSに基づく絵表示なし
注意喚起語	GHSに基づく注意喚起語なし
危険有害性情報	GHSに基づく危険有害性情報なし
注意書き	
安全対策	必要に応じて、適切な保護具を着用する。
応急措置	気分が悪い時は、医師に連絡すること。
保管	容器を密閉・遮光し-10~-30°Cの冷暗所にて保管する。
廃棄	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名

酵素、基質などの混合水溶液

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
グリセリン	5-15%	C3H8(OH)3	(2)-242	既存	56-81-5
トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン	1-5%	(CH2OH)3C NH2	(2)-318	既存	77-86-1
塩化マグネシウム	≦1%	MgCl2	(1)-233	既存	7786-30-3
添加材(酵素、オリゴヌクレオチド類など)	≦1%	非公開	非公開	非公開	非公開

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

眼に入った場合

水と石鹼で洗うこと。

水で数分間注意深く洗うこと。

眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

この製品自体は燃焼しないが、水が蒸発後は燃焼するおそれがある。

周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。

本製品が燃焼した場合、粉末消火剤、二酸化炭素、散水、水噴霧、耐アルコール性泡消火剤、砂。

特有の危険有害性

加熱により容器が爆発するおそれがある。

吸入すると有害となるおそれがある。

接触により皮膚や眼に炎症を起こすおそれがある。

火災時に刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護

空気式呼吸器(SCBA)を着用する。

防火服は火災時に限られた防護をするに過ぎない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

危険な現場を分離して無関係者及び保護具未着用者の出入りを禁止する。

作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

風上に留まる。

低地から離れる。

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

環境中に放出してはならない。

危険でなければ漏れを止める。

ウエスや不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項

排気用の換気を行うこと。

飲み込みを避けること。

皮膚との接触を避けること。

ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。

接触回避

『10. 安定性及び反応性』を参照。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件	保管場所には本製品を貯蔵し又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。 酸化剤から離して保管する。 容器を密閉・遮光し-10~-30°Cの冷暗所にて保管する。
安全な容器包装材料	ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラス等

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会 (2019年版)	ACGIH (2020年版)
水	未設定	未設定	未設定
グリセリン	未設定	未設定	未設定
トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン	未設定	未設定	未設定
塩化マグネシウム	未設定	未設定	未設定
添加剤、オリゴヌレオクチド類	未設定	未設定	未設定

設備対策

特別な換気要求事項はない。
本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置したほうがよい。

保護具

呼吸器の保護具	換気が不十分な場合には、適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	必要に応じて個人用保護手袋を使用すること。
眼の保護具	必要に応じて個人用の眼の保護具を使用すること。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて個人用の保護衣、保護面を使用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観	物理的状态 形状 色	液体 液体 透明 無臭
臭い		無臭
臭いのしきい(閾)値		データなし
pH		データなし
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		100°C(水)
引火点		不燃性
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		データなし
燃焼性(固体、気体)		適用されない
燃焼又は爆発範囲		データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度(空気=1)		データなし
比重(密度)		データなし
溶解度		水に可溶
n-オクタノール/水分配係数		データなし
自然発火温度		不燃性
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし

10. 安定性及び反応性

反応性
化学的安定性
危険有害反応可能性

通常の条件では危険有害な反応は起こらない。
通常の条件においては安定である。
過剰な圧力又は熱を放出する危険有害な反応又は重合は起こらない。
不燃性であるが、水が蒸発後は燃焼するおそれがある。

避けるべき条件
混触危険物質
危険有害な分解生成物

水が蒸発後は、熱、火花、裸火などの着火源。
強酸化剤。
燃焼及び熱分解により一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、不完全燃焼炭素化合物が発生する。

11. 有害性情報

急性毒性

経口

成分の急性毒性値は、水 >100000mg/kg、グリセリン 27200 mg/kg、トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン >5000mg/kg、塩化マグネシウム >5000mg/kgであり、混合物の急性毒性推定値が36000mg/kgのため、GHS:区分外に該当する。(混合物の1%は毒性が未知の成分からなる。)

経皮

成分の急性毒性値は、水 >100000mg/kg、グリセリン >18700mg/kg、トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン >5000mg/kg、塩化マグネシウム >2000mg/kgであり、混合物の急性毒性推定値が33000mg/kgのため、GHS:区分外に該当する。(混合物の1%は毒性が未知の成分からなる。)

吸入(気体)

製品の形状がGHS定義による液体のため分類対象外に該当する。

吸入(蒸気)

データがなく分類できない。

吸入(粉じん)

製品の形状がGHS定義による液体のため分類対象外に該当する。

吸入(ミスト)

データがなく分類できない。

皮膚腐食性及び刺激性

データ不足のため分類できない。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

データ不足のため分類できない。

呼吸器感作性

データがなく分類できない。

皮膚感作性

データがなく分類できない。

生殖細胞変異原性

データがなく分類できない。

発がん性

データがなく分類できない。

生殖毒性

データがなく分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

データがなく分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

データがなく分類できない。

吸引性呼吸器有害性

データがなく分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)

データ不足のため分類できない。

水生環境有害性(長期間)

データ不足のため分類できない。

オゾン層への有害性

モントリオール議定書の附属書に列記されたオゾン層破壊物質を含まないため分類されない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

汚染容器及び包装

14. 輸送上の注意

国際規則

Regulatory Information by Sea Not dangerous goods

Regulatory Information by Air Not dangerous goods

国内規制

陸上規制 非該当

海上規制情報 非危険物

航空規制情報 非危険物

特別の安全対策

輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

緊急時応急措置指針番号

重量物を上積みしない。

なし

15. 適用法令

適用される主たる法令はなし。

16. その他の情報

連絡先

参考文献

日本板硝子株式会社

RTECS

ECHA C&L Inventory Database

ECHA Registered substances Database

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いいたします。